

Y2Kによる我が国への影響について

平成12年1月1日午後5時現在

2. 具体的事例

(1) 電力

・1月1日0:02に東北電力女川原子力発電所1,2号機において「プロセス計算機検出器故障」警報が発報し、0時12分に自動で正常に復帰した。その後、8時02分にも同じ警報が発報し8時12分に自動でクリアした。また、その後の調査で、昨年11月及び12月にも複数回、同じ警報が発報していることが判明。以上の点及びコンピュータについてはY2K対応のプログラム改修及び模擬試験が行われていることから、原因がY2Kとは考えられないが、原因調査を行う。

・北陸電力(株)志賀原子力発電所1号機において、0時以降、安全パラメータ表示システム(SPDS)の表示に不具合が生じていたが、16:30頃からデータの表示が正常になった。原因については現在調査中。(SPDSは通常原子力発電所の運転状態の監視を行うものではない。)

・1月1日2:00頃関西電力(株)高浜原子力発電所関係の舞鶴市内にある2カ所のモニタリングポストのデータを京都府へデータ伝送ができていないことが判明。なお、伝送は6時30分ごろ復旧済み。原因については現在調査中。

・1月1日8:58に、東京電力(株)福島第二原子力発電所1号機(沸騰水型、定格出力110万KW)が定格出力運転中、「制御棒位置指示系重故障」の警報が発生し、制御棒の位置表示が行われなくなった。その後、11:15に制御棒指示系盤のエラー表示器の動作不良を確認した。その後エラー表示器の制御基盤の内蔵時計を確認したところ、日付が2036年2月6日となっており、2000年1月1日に修正したところ、14:12に、制御棒位置指示系の機能が回復。原因については、引き続き調査中。

(2) ガス

(3) 上水道

(4) 石油

(5) 核燃料施設等

・1月1日7時23分、六ヶ所村高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの運転制御・監視システムに表示不良が発生。現在原因調査中。運転制御・監視は継続しており、本事象による外部への影響はない。

(6) 電気通信

・1月1日0時、NTTドコモの携帯電話の一部の機種に不具合があり、ショートメールが年号の古い順にソートされないため、端末の受信可能な件数を超過して受信された場合削除されてしまう事象が発生。

・1月1日3時にFAX情報サービスの一部に不具合が発生したが、関係のソフトを修正し、16時28分に復旧した。

(7) 放送

・ 1月1日、5 : 0 0 頃 (株)小田急情報サービスにおいて約200世帯のホームターミナルで障害が起き、正しいチャンネルが映らなくなったが、改めてチャンネルの信号を送信しなおし、対処した。原因については、現在調査中である。

(8) 金融

(9) 航空

・ 1月1日1時12分、サテライト空港運航管理卓経由のノータム(航空情報)、気象情報の入手が困難になった。現状では、運航者はプリント出力のほかに、別途、電話、FAX等により、関係情報は入手可能なことから、通常通りの運航は可能。

(10) 海運

(11) 鉄道

・ 1月1日4時、東日本旅客鉄道盛岡支社及び水戸支社のオレンジカード専用自動券売機の一部が立ち上げ不能となった。これは、機器を立ち上げるプログラムの改修漏れによるものと判明した。

(12) 医療

(13) 政府部門

・ 1月1日0時、高感度地震観測システムの地震データは防災科学技術研究所と気象庁大阪管区气象台において二重化されており、防災科学技術研究所においては受信されていることから、地震観測体制には影響はない。受信システムのプログラムの修正を行ったところ、1 / 1、10 : 40 頃に復旧し、Y2K問題の関連の修正もれであることが判明した。

(14) 信号機

(15) 通関

(16) 入国管理

(17) 地方公共団体

・ 1月1日0時30分、石川県環境放射線監視システムのデータが表示されなくなった。原因は調査中。FAX配送による応急対策を実施。

(18) 地域情報